令和3年3月5日作成

事業番号	5711	担当課等	学校教育課				
事務事業名	学校支援ボラン	/ティア活用事	業				
予算科目コード	会計 01	款 09 項	05 🗏 01	事業開始年度	平成 年度		

## 1 事業概要(令和2年度)

	~								
総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策		拖 策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯学習の	)推進 学	3 华校教育	小•中等 充実	(1) 学校教育の	中学校教育	3) 育の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				0					
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								0	
目的	地域の推進する		かわってい	いただき、	、地域との通	車携を図り	、生徒を	育てる教育	育環境を
対象	地域の	地域のボランティア							
内容		おける教育 っていたア			学校図書館	 の蔵書整	 理などに	地域のボ	ランティ

		区 分	平成30年度(決算)	令和元年	度(決算)	令和2年	度(見込)	
		事業費	28,527		28,422		127,000	
コス	人	常勤職員						
\   	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	0		0		0	
		総事業費	28,527		28,422		127,000	
		国庫支出金						
財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳		一般財源	28,527	28,527 28,422		127,000		
		財源合計	28,527		28,422		127,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
<u> </u>								

とはいってのこのようないののかはか										
評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要性	町が実施する必要があるのか		学校の様々な場面において地域ボランティアにかか わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ること ができる。							
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	_	学校の様々な場面において地域ボランティアにかか わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ること ができる。							
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域 と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性 を図ることができる。							
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで 児童・生徒の学校生活の向上につながる。							

令和元年度までの 自己評価または 改善点

特になし

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	田山を記る	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	特になり	
令和3年度以降の 方向性	現状維	持

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

学校環境の維持向上をボランティアの協力をいた だき継続的に図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	5723	担当課等	学校教育課					
事務事業名	普通救命講習	会開催事業						
予算科目コード								

### 1 事業概要(令和2年度)

· 于 未 M 女 \ D T I E 干 /	~								
総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策		拖 策
P126	41.300.3.3539	_	I . YE 34 777 o	747.747 D	3	, 4.8	(1)		3
ゆがわら2011プラン	生涯を通じ かな心を育		生涯学習の	)推進   与	<b>学校教育</b>	カ・甲ラ 充実	学校教育の	中学校教育	3の允実
後期基本計画	り								
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCV/民建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変	動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	総合学	習の時間	で普通教	急救命	講習会を開	催し命の	大切さを質	<b>₹</b> \$.	
対象	湯河原	湯河原中学校2年生							
内容	普通教え			 □呼吸、	AEDの取り	 0扱い等)	ーー を開催し、	不測の事	が態に備

		区 分	平成30年度(決算)	令和元年	度(決算)	令和2年	度(見込)
		事業費	82,680		77,960		84,000
コス	人	常勤職員					
\hat{\chi}	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	82,680		77,960		84,000
		国庫支出金					
財	<u> </u>	県支出金					
源	<u> </u>	地方債					
内	`L						
訳		一般財源	82,680		77,960	84,000	
		財源合計	82,680		77,960		84,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
<u> </u>							

12 10x - 1 (Sec. 2 to 1 kines Arman										
評価 5段階	平 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要性	町が実施する必要があるのか	5	総合学習の時間を使い実施している。							
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	消防本部の協力を得て実施している。							
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不 測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことがで きる。							
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	受講は2年生全員を対象としている。							

令和元年度までの 自己評価または 改善点

特になし

4 見直し及び改善

・元旦し次の政告									
評価 4区分とその理	里由を記え	<u>人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>							
委託・指定管理 導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。							
_									
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	特になり								
令和3年度以降の 方向性	現状維	持							

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、 不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶこ とができる。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	5728	担当課等	学校教育課				
事務事業名	生徒用机·椅子	・教卓等整備	<b>#事業</b>				
予算科目コード	会計 01	款 09 項	05 🗏 01	事業開始年度 平成	年度		

## 1 事業概要(令和2年度)

·	~									
総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分	野	主	要施 策	細	施策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	カナンハンをマ	4 ごて学び豊 斉むまちづく	I 生涯学習∉	D推進	3 学校教育		小·中 <del>·</del> 充実	(1) 学校教育の	中学校教	③ 育の充実
関連する個別計画										
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェン	ノダー 6フ	k∙衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	҆ 9インフラ等
SDGsとの関連				0						
SDGSとの角理	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変	動 14海洋	資源 15	陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	生徒用境を整備		· •教卓等の	学校用	品を更	新し、生	三徒が登	安全•安心	して学習	できる環
対象	湯河原	中学校								
内容		品は、机	、教卓等の の天板を				<del></del> 吏用し	ており、修	繕不能と	なるもの

	区 分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)		令和2年	度(見込)
	事業費		531,360		531,720		534,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	531,360		531,720		534,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	531,360	531,720		534,00	
		財源合計	531,360	531,720		534,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
<u> </u>							
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
<u> </u>							

評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生徒が使用する机等の更新を図るため必要。					
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		長年の使用により破損する机等があるため、定期的 に更新している。					
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		長年の使用により破損する机等があるため、定期的 に更新している。					
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		長年の使用により破損する机等があるため、定期的 に更新している。					

令和元年度までの 自己評価または 改善点

特になし

4 目前1 及び改善

・兄直し及び以音								
<u>評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>								
委託・指定管理 導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。						
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	特になり	L						
令和3年度以降の	祖化維	培 生活物の推移を注視] ていく						

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

方向性

継続(現状維持)

現状維持。生徒数の推移を注視していく。

破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新し ていく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	5735	担当課等		学校教育課	
事務事業名	防災備蓄用品	<b></b>			
予算科目コード	会計 01	款 09 項	05 🗐 01	事業開始年度 平成	年度

## 1 事業概要(令和2年度)

<u> </u>									
総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策		も 策
P126 ゆがわら2011プラン	生涯を通じかな心を育	て学び豊	I 生涯学習⊄	推進	3 校教育	小·中等 充実	(1) 学校教育の	中学校教育	3) ずの充実
後期基本計画	かっなんでも り	G x 9 7 \				儿关			
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCO/AC	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	緊急時 る。	における <u>/</u>	生徒の安全	全確保を	図るため、	毎年防災	備蓄品を	順次整備	じてい
対 象	湯河原	湯河原中学校							
内容	備蓄用	食料、飲料	料水、防災	を用備品	<mark>を整備する</mark>	) <sub>o</sub>			

区分		平成30年度(決算)	今知규선	F 使 (	令和2年度(見込)		
			73 イロノレー				
事業費		207,036		205,128		206,000	
人	常勤職員						
件	会計年度任用職員等						
費	人件費合計	0		0		0	
	総事業費	207,036		205,128		206,000	
	国庫支出金						
	県支出金						
財 源 地方債							
	その他特定財源						
	一般財源	207,036	6 205,128		206,00		
	財源合計	207,036	205,128		205,128		
	活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •							
	人件費 ————————————————————————————————————	事業費	事業費 207,036   人 常勤職員   共 会計年度任用職員等   大件費合計 0   総事業費 207,036   国庫支出金 地方債   その他特定財源 207,036   財源合計 207,036   活動指標 指標設定の理由・考え方	事業費 207,036   人 常勤職員 (207,036)   会計年度任用職員等 (207,036)   大件費合計 (207,036)   国庫支出金 (207,036)   地方債 (207,036)   財源合計 (207,036)   活動指標 指標設定の理由・考え方	事業費 207,036 205,128   人 常勤職員 人件費合計 0 0   総事業費 207,036 205,128   国庫支出金 県支出金 地方債   その他特定財源 207,036 205,128   財源合計 207,036 205,128   財源合計 207,036 205,128   活動指標 指標設定の理由・考え方 単位 平成30年度	事業費 207,036 205,128   人 常勤職員 (年勤職員等)   女会計年度任用職員等 (日職員等)   人件費合計 (日職員等)   (日職事業費) (日職事業費)   (日職事業費) (日職事業費)   (日職事業) (日職事業費)   (日職事業) (日職事業)   (日職事業) <td< td=""></td<>	

to true a trade of a figure made at them.							
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	緊急時における生徒の安全確保を図るため実施する。				
	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年、防災備蓄品を順次整備している。				
	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確 保が図られる。				
	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	湯河原中学校生徒全員に対して防災備品を整備 している。				

令和元年度までの 自己評価または 改善点

特になし

4 見直し及び改善

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要が ある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	5769	担当課等	学校教育課
事務事業名	図書整備事業		
予算科目コード	会計 01	款 09 項	05   目   02   事 業 開 始 年 度   平成 年月

## 1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策		拖 策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じ かな心を育 り	て学び豊	生涯学習の	推進 学	3 校教育	小•中等	(1) 学校教育の		3) fの充実
関連する個別計画									
500-4の間油	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	文部科も引き続き				· <mark>書館整備</mark> 第	第5次5ヶ <sup>年</sup>	手計画がた	示されてお	的、今後
対 象	学校図	学校図書館							
内容	学校図	書を購入	して充実を	と図る。					

	区 分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)		令和2年	度(見込)
	事業費		611,255		669,869		700,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	611,255		669,869		700,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	611,255	669,869		700,00	
		財源合計	611,255	669,869		700,0	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
図	図書購入数		図書館の充実	冊			
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

to the a town of a second to the second to t								
評 価 5段	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校 図書館の蔵書等の充実を図るもの。					
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで生徒の利用が促 進できる。					
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで生徒の利用が促 進できる。					
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで生徒の利用が促 進できる。					

令和元年度までの 自己評価または 改善点

平成27年3月に図書館システムをリニューアルし、蔵書管理や貸出管理などPCにより可能となった。

#### 4 目前1 及び改善

・見直し及び改善								
評価 4区分とその理	評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3	図書館の蔵書整備のため、行政として行う必要があると考える。						
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	特になし							
令和3年度以降の 方向性	現状維持							

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

<mark>生徒の利用促進のため、常に蔵書の充実を図っ</mark> ていく必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	5790	担当課等		学校教育課	
事務事業名	部活動用品整体	<b>⋕事業</b>			
予算科目コード	会計 01	款 09 項	05 目 02	事業開始年度平原	成 年度

### 1 事業概要(令和2年度)

· PAMA(IIIIET)	~								
総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策		拖 策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	生涯を通じ	4 、て学び豊 「むまちづく	生涯学習の	)推進 学	3 华校教育	小•中 充実	(1) 学校教育の	中学校教育	3) ぽの充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
のないの即す				0					
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動	の充実と	技術の向_	上を図る	0				
対象	湯河原	湯河原中学校生徒							
内容	部活動	において	使用する(	備品を整	が備し充実を	を図る。			

		区 分	平成30年度(決算)	令和元年	度(決算)	令和2年	度(見込)	
		事業費	260,490		145,540		290,000	
コス	人	常勤職員						
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	0		0		0	
		総事業費	260,490		145,540 290,			
		国庫支出金						
財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳	一般財源		260,490		145,540	290,00		
		財源合計	260,490		145,540		290,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	

評価 5段階とそ	の理由を記入(5:高い 4:	高かけ	い 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必要性町が	「実施する必要があるのか	5	部活動の振興を通して、生徒の個性の伸長や人間 性の育成を図ることができる。
が得	した費用に見合った効果 引られているか 事業との類似はないか	5	毎年部活動用品の整備を行い継続した部活動支 援を行うことができる。
	きの目的に対して成果が得 しているか	5	毎年部活動用品の整備を行い継続した部活動支 援を行うことができる。
	美の目的に対して受益の機 、均等か	4	生徒・保護者にとっての経済的負担の軽い(機会均等)部活動を推進・充実することができる。

令和元年度までの 自己評価または 改善点

特になし

#### 4 目前1 及び改善

見直し及び改善									
評価 4区分とその理	里由を記え	l(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3	部活動用品購入事業のため、学校として行う必要があると考える。							
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	特になり								
令和3年度以降の 方向性	現状維	持							

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

部活動を推進し、充実させるため、部活動用品の 整備を図っていく必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	5776他	担当課等	学校教育課				
事務事業名	各種教育振興	事業					
予算科目コード 会計 01 款 09 項 05 目 02 事業開始年度 平成 年度							

### 1 事業概要(令和2年度)

· 于木帆女\17112十/									
総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策		拖 策
P126	41.300.3-350.3		I	71/7/14 2	3	, 4.8	(1)		2
ゆがわら2011プラン	生涯を通じ かな心を育		生涯学習の	)推進   气	学校教育	小・円号  充実	学校教育の	小学校教育 	すの充実
後期基本計画	ŋ								
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCV用建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変	動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的					な学力」「豊 「生きる力」			体」を持っ	た児童・
対象	湯河原	湯河原中学校生徒							
内容					寅会開催事 習推進事業		っぱい教育	育推進事業	業、特別

		区 分	平成30年度(決算)	令和元年	F度(決算)	令和2年	度(見込)
		事業費	374,327		511,410		682,000
コス	人	常勤職員					
Î,	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	374,327		511,410		682,000
		国庫支出金					
財	県支出金						
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳	一般財源		374,327		511,410 682		
		財源合計	374,327		511,410		682,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
<u> </u>							

評価 5段階	皆とその理由を記入(5:高い 4:	高かけ	らい 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必要性	町が実施する必要があるのか	5	教育内容の充実を図るため、事業を実施する必要 がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	教育内容をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	教育内容をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	全生徒を対象としているため公平性を保っている。

令和元年度までの 自己評価または 改善点

総合的学習推進事業では、平成14年度より国際理解・情報・環境福祉・健康などこれまでの教科にない総合的な課題についての学習活動が行われている。

#### 4 見直し及び改善

光直し次が収音									
評価 4区分とその理	里由を記え	<u>((1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>							
委託・指定管理 導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。							
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	特になり								
令和3年度以降の 方向性	特になり								

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

常に時代に合った内容の、講演、研修その他の 事業を実施し、児童の豊かな心を育んでいく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

令和3年3月5日作成

事業番号	4700	担当課等		学校教育課	
事務事業名	新型コロナウイ	ルス感染症炎	<b> </b>		
予算科目コード	会計 001	款 09 項	05 目 01	事業開始年度	平成 年度

### 1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主	要施 策	細力	施 策
ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	<u>4</u> 生涯を通じ かな心を育 り	て学び豊	生涯学習の	)推進 学	3 校教育	小•中 <sup>2</sup> 推進	1 学校教育の		.0 設備•整備
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDUSCO/民座	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校に 進します。		型コロナウ	イルス感	染症対策	を徹底し、	安全•安	心な学校	生活を推
対 象	湯河原	中学校の	生徒及び	教職員					
内容					て保健衛生		を整備しま	ー す。	

		区 分	平成30年度(決算)		令和元年	度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト		事業費	1 000 1 100 100 100 100 100 100 100 100					2,843,000
	Y	常勤職員						
	件費	会計年度任用職員等		•••••				
		人件費合計	0			0		0
		総事業費	0 0			2,843,000		
		国庫支出金						2,843,000
財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳		一般財源	0			0	0	
		財源合計	0			0	2,843,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成30年度	令和元年度	目標値
ļ								
成果指標			指標設定の理由・考えて	5	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
ļ								

2_   1   100							
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要	更 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒及び教職員等の安全・安心の確保や支援であ るため、行政が行います。			
効 率 類 似	.—	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。			
有效	<b>力</b> 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、生徒が感 染症対策等を習慣化することができた。			
公平	工性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	3	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必 要となります。			

令和元年度までの 自己評価または 改善点

4 見直し及び改善

+ 兄直し及い以音									
評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
委託・指定管理 導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。							
令和2年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	保健衛生用品の充実により、令和2年6月に学校を無事再開することができた。また、その後も安全・安心な学校生活を推進することができた。								
令和3年度以降の 方向性	感染症対策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図ります。								

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

限られた予算の中で、最善な対策に努める必要性がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価